

ロ 窒素酸化物排出量

$$q_N = 0.487 \cdot K \cdot C \cdot W 10^{-8}$$

但し、 q_N ；窒素酸化物排出量 (Nm^3/h)

K ；窒素酸化物排出係数 ($kg/10^8 kcal$)

C ；発熱量 ($kcal/\ell, kg, Nm^3$)

W ；燃原料使用量 ($\ell, kg, Nm^3/h$)

W は工場・事業場燃料使用量の値を、 K 、 C は各々表4-5・表4-6・表4-4に示す値を用いた。各原単位は、環境庁で公表している値を採用し、排出ガス係数および窒素酸化物排出係数で不明のものについては、逆算して求めた表4-7に示す値を用いた。

ハ 排出ガス処理施設がある場合の汚染物質排出量の算定

硫酸酸化物排出量、窒素酸化物排出量を算出するさい処理施設がある場合、次式により算定した。

$$Q_c = \frac{G_w - G_o \times 10^3}{G_w} \cdot q_c + \frac{G_o \times 10^3}{G_w} (1-F) \cdot q_c \quad (4.1.1)$$

但し、 Q_c ；処理済汚染ガス量 (Nm^3/h)

q_c ；処理前汚染ガス量 (Nm^3/h)

G_w ； Wet 排出ガス量 (Nm^3/h)

G_o ；処理施設処理能力 ($10^3 Nm^3/h$)

F ；処理施設処理効率 (比率) である。

(4.1.1) 式を用いて、

規格以上の場合 ($G_w - G_o \times 10^3 \geq 0$) のとき

$$Q_c = \frac{G_w - 10^3 \times G_o \times F}{G_w} \cdot q_c$$

規格以下の場合 ($G_w - G_o \times 10^3 < 0$) のとき

$$Q_c = (1-F) \cdot q_c \quad \text{となる。}$$

ニ 季節別・日別汚染物質排出量

季節別・日別 燃料使用量は、工場・事業所における稼動状況 (操炉時間、操炉期間) に応じて次式により算出した。

$$W_{ij} = P_{ij} \cdot W$$

W_{ij} ； i 期 j 時間帯燃料使用量 ($\ell, kg, Nm^3/h$)

W ；年間燃料使用量 ($K\ell, t, 10^3 Nm^3/年$)

P_{ij} ；燃料使用量の i 期 j 時間帯に対する割合

但し、協定覚書工場に関しては、常時監視データの変動に応じて配合した。

| 燃 料 | |
|-----|---------|
| 重 | |
| 原 | |
| ナ | フ |
| 軽 | |
| 灯 | |
| 石 | |
| コ | ク |
| L | P |
| L | N |
| コ | ク ス 炉 |
| 高 | 炉 ガ |
| 軽 | 炉 ガ |
| 都 | 市 ガ |
| リ | ッ チ |
| 廃 | |
| 水 | 素 ガ |
| ペ | ン タ ン 廃 |
| 副 | 生 メ タ ノ |

注 大気汚染物質排出量総